

# トムラウシ温泉 東大雪荘周辺地図



## 東大雪荘周辺



1 トムラウシ温泉噴泉塔

源泉付近に長い年月を経て自然形成された噴泉塔。湯の華塔とも呼ばれています。噴泉塔は石灰質を含む湯が噴出し凝固、堆積したもので、高さ1mを超えるものは世界的に珍しく学術的にも貴重です。

ロケーション  
東大雪荘第2駐車場前  
源泉貯湯槽そば



2 トムラウシ自然休養林と野営場

亜寒帯針葉樹と広葉樹が混在する日本有数の亜寒帯針広混合林です。休養林にはエゾシカや熊、エゾリスなど北海道特有の希少な野生動物が数多く生息しています。野営場は例年7/1~9/30に開設。

野営場へのアクセス  
ユートムラウシ林道より第一支線林道へ入り約300m



3 ユウトムラウシ川

標高1760mの三川台の東側ユウトムラウシ花園を源頭とする十勝川の支流。東大雪荘より下流は人の侵入を阻む「函」と呼ばれる断崖絶壁となっています。さらに下流でトムラウシ川と合流し、富村ダムを経て二股で十勝川となります。東大雪荘付近ではオショロコマが釣れます。

## トムラウシ三大展望台



4 望岳台

標高800mの展望台。眼前にトムラウシ山を眺望し、前トム平やトムラウシ公園など、登山ルートをなぞることができます。融雪がすすむ6月からは車でのアクセスが可能。

アクセス  
ユートムラウシ林道をトムラウシ山短縮コース登山口方面へ約3.1km



5 白雲台

標高750mの展望台。エゾマツやトドマツの樹海の向こうに十勝連峰が織りなすスカイラインを眺望します。付近のアクセス道からは東大雪の名峰200名山ニペソツ山の雄姿も拝めます。

アクセス  
道道718号線を市街地方面へ約3.3km

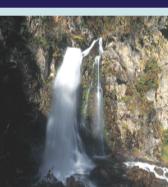


6 三景山

以前はニペソツ山、トムラウシ山、十勝岳を一望できる標高960mの景勝地でした。現在はニペソツ山のみ遠望可能ですが、近年、人跡絶無の場所になりつつあります。

アクセス  
ユートムラウシ林道より第二支線林道へ、第四、第三、第五支線林道を経て約8.5km

## トムラウシ三名瀑



7 霧吹の滝

40mの断崖から大水が飛沫をあげて滝壺へ落下する様は圧巻。平成24年に散策路が崩壊して以来その自然美が語り継がれています。

アクセス  
ユートムラウシ林道をトムラウシ山短縮コース登山口方面へ約3.0km 散策路を約30分(平成30年現在通行禁止)



8 霞の滝

黒い岩肌と白糸のような清らかな水流のコントラストが美しい小滝。散策路は平坦なのでトレッキング初心者でも安心して歩けます。積雪期に白い森を歩くスノーシュートレッキングもおすすめです。

アクセス  
道道718号線を市街地方面へ約6.8km 散策路を約15分



9 秘奥の滝

落差はおよそ30m。轟音とともに飛沫をあげる様は迫力満点です。平成以前はアクセス道が未整備で人を容易に寄せつけないところから「幻の滝」と呼ばれていました。

アクセス  
曙橋よりシートカチ林道を約7.4km、レイサクベツ林道を約5.2km 遊歩道を約10分

## 秘境の野湯と深山



10 ヌブントムラウシ温泉

かつては登山者や林業関係者のみが知る秘湯中の秘湯でした。平成4年に町がアクセス林道と温泉施設を整備。平成28年の台風により致命的なダメージを受けました。

アクセス  
曙橋よりヌブントムラウシ林道(平成30年現在車両通行止)を約15.0km



11 三股山

北海道の重心は三股山山頂から北西約300mの地点にあります。以前は「重心ツアーハウス」がありました。三股山には登山道がついていないため残雪期が登山適期です。

アクセス  
道道718号線を市街地方面へ約2.0km 山に入りスキーで約3.0km

紹介している各所へのアクセス道は、未舗装の林道で冬期は車両通行止となります。また各所は、自然現象の被害を受けやすいロケーションにあります。訪問の際は、  
林野庁 北海道森林管理局  
十勝西部森林管理署 東大雪支署  
へ道路状況をご確認の上、自己責任での行動をお願いします。